

1 年生 国語

～自分の考えを的確に表現するために～

知識・技能 評価物：定期テスト、小テスト、ノートの記述、授業の様子、提出物など

- ・学習した漢字を適切に使用することができる。
- ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直したり、訓読文を正しく書き下したりできる。
- ・言葉の決まりを正しく理解できる。
- ・表現技法を理解し、適切に使用することができる。

【授業中】

- ・言葉のきまりや古典に関する知識について、授業課題を通して理解を深めましょう。

【家庭学習】

- ・新出語句は自分で意味を調べ、ノートに書き留めましょう。漢字はプリントやノートを使って予習復習しましょう。また漢字や語句は意味だけでなく用例を集めながら使える言葉（語彙）として定着させましょう。
- ・文法は何度も練習問題を解くことが大切です。授業で配られたプリント等を使って復習しましょう。

思考・判断・表現 評価物：定期テスト、ノートの記述、授業の様子、提出物、発表など

- ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫できる。
- ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫できる。
- ・「読むこと」において、説明的文章では文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて述べられていることを基に捉え、要旨を把握できる。文学的文章においては場面の展開や登場人物の言動の意味などを考えて読むことができる。

【授業中】

- ・考えたことの言語化に挑戦しましょう。相手により正確に伝えられるように書くこと、話すことを意識します。

【家庭学習】

- ・授業中に取り組んだ課題を振り返りましょう。そこで出てきた疑問や新たな考えについてはノートにまとめ直しましょう。

主体的に学習に取り組む態度 評価物：ノートの記述、授業の様子、提出物など

- ・板書のみならず、疑問や気づき、人の意見、振り返りなどを併せてノートに記そうとしている。
- ・表現するために工夫を重ねながら、他者との交流を積極的に行おうとしている。
- ・ロイロノートの課題や提出にも意欲的に取り組もうとしている。

【授業中】

- ・他項目「知識・理解」「思考・判断・表現」の横断を意識して行います。「知識」を深め「表現」する、そこで必要な言葉を新たに知ろうとする…という学びのステップをつくりましょう。
- ・他者の考えを積極的にノートに書き取り、自分の考えへ還元させる習慣をつけましょう。

【家庭学習】

- ・授業中に出た疑問や課題について新聞や本、インターネットなどを使って新たに調べ、気づきがあったときは、学びの足跡としてノートにどんどん書き溜めていきましょう。

1年生 社会 ～色々な立場から考える力をつけるため～

知識・技能

評価物：定期テスト・学習プリント（達成度チェックプリント）

- ・世界の国や日本の都道府県の位置と名前が分かる。
- ・世界の地域や日本の様子を、地図やグラフ、統計資料から読み取ったり、表したりすることができる。
- ・各時代の特色や歴史上の人物の行ったことについて、説明することができる。
- ・歴史上の出来事について、その原因や結果について、説明することができる。

【授業中】

- ・学習する用語の意味を理解できるように、プリントに先生の説明や他の人の説明を自分の言葉でたくさんメモできるようにしましょう。

【家庭学習】

- ・用語を覚えているか、何度も繰り返し、自分でチェック(テスト)をしてみましょう。
- ・地理の学習では、地図やグラフをたくさん見ます。その資料の読み取りを正確にできるように復習しましょう。

思考・判断・表現

評価物：定期テスト・学習プリント（達成度チェックプリント、「学びの地図」）

- ・世界の地域や日本の様子について、様々な資料から、関連させたり、比べたりして、考察することができる。
- ・歴史上の出来事について、その意味や与えた影響について、色々な角度から考えることができる。
- ・学習課題について、自分の考えを持ち、他の人の考えも取り入れながら、論理的に述べることができる。

【授業中】

- ・社会科は考えたことを言葉で表現することが基本となります。相手の人にも自分の考えたことが伝えられるように、書いて、説明することに挑戦しましょう。

【家庭学習】

- ・授業中で取り組んだ課題にもう一度、家で取り組んでみましょう。授業では気がつかなかった角度から考えられるかもしれません。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：学習プリント（ワークシート、「学びの地図」）

- ・学習課題に対して、自分の考えに満足せず、更に発展させるために、他人の考えや最初の自分の考えを比較し、改良していこうとする。
- ・学習したことを、更に発展させ、自分で調べ、考えようとしている。

【授業中】

- ・授業中に自分で考え、書くことを努力して下さい。また、他の人とたくさん話をしてください。自分にはない考えはどんどんメモをして、自分の考えを変化させてください。

【家庭学習】

- ・授業中にとりくんだ課題について、新聞や本、インターネットなどを使って、新たに調べてみましょう。調べたことは自主学習ノートにどんどん記録していきしていきましょう。

1 年生 数学

～確かな知識と技能・粘り強い思考力・幅広い表現力をつけるために～

知識・技能

評価物：定期テスト・授業ノート・学習プリント・提出物など

- ・数の世界の広がりを理解することができる。
- ・様々な数を扱った基礎的な計算ができる。
- ・文字を使った式についての知識を深めることができる。

【授業中】

・授業での学びを使って、教科書の問題に取り組みましょう。そして必ず途中式（結果までの自分の考え方の筋道）を大切にしましょう。

【家庭学習】

- ・その日の学びをノートやプリントに整理したりしましょう。
- ・その整理した学習内容を確認しながら問題集の問題に挑戦しましょう。

思考・判断・表現

評価物：定期テスト・授業ノート・学習プリント・提出物など

- ・課題を解決するために、自分のもつ知識や技能を、多角的に活用することができる。
- ・自分の考えたことを、数や文字を使って表現することができる。
- ・自他の考えを取り入れながら、学習課題について筋道立てて論理的に述べることができる。

【授業中】

・学習する内容の意味を理解できるように、“自分の考え・アイデア”や“気づき・発見”をノートやプリントにかいてみましょう。そこから、他の人の考えなどを取り入れて更なる発見をしていきましょう。

【家庭学習】

・基礎的、基本的な問題だけでなく、応用問題などに取り組みましょう。その中で、その課題解決までにどのような技能や知識が活用されているのかを把握していきましょう。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：授業態度・提出物・授業ノート・定期テスト

- ・実生活の課題を数学的な考え方を使って解決しようとするすることができる。
- ・身の回りの実生活において活用される数学の考え方などを、発見することができる。

【授業中】

- ・どのようなことでもよいので、授業中に自分で考えたことや感じたことを、表現していきましょう。
- ・表現した考えや気づきから、更なる課題を発見していきましょう。

【家庭学習】

- ・授業中にとりくんだ課題についての考え方を、様々な問題に活用しながら試行錯誤をしましょう。
- ・様々な数学の課題を考えながら、多様な考え方にふれていきましょう

1 年生 理科

～自然現象を理解し、この世界の不思議を見つけるため～

知識・技能

評価物：定期テスト・小テスト・課題・ワークシート・行動観察

- ・自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則・用語などを理解している。
- ・観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。

【授業中】

- ・授業中に可能な限り覚えられるよう、説明は集中して聞き取ろう。
- ・話し合いの場では積極的に発言し、原理・法則・用語の意味を説明できるようにしよう。
- ・実験では注意すべきこと、操作の理由を理解して取り組もう。

【家庭学習】

- ・教科書を事前にしっかり読んで、予習を中心に学習しましょう。
- ・授業で習った内容をその日のうちに復習する。
- ・テスト前には配られるプリント、補助教材、教科書章末問題などを活用しましょう。

思考・判断・表現

評価物：定期テスト・課題・レポート・ワークシート・行動観察

- ・実験操作を行う理由を説明できる。
- ・得られた結果を分析して規則性、関係性、共通点、相違点、などを見いだして表現できる。
- ・自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察することができる。

【授業中】

- ・観察・実験で得た結果から、原因を探り自分の言葉、考えを文章で表現できるようにしよう。
- ・話し合いの場で、様々な意見に触れ、異なる考え方、視点があることに気づこう。

【家庭学習】

- ・授業中で取り組んだ課題にもう一度、家で取り組んでみよう。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：課題・レポート・ワークシート・行動観察

- ・自らの学習状況を把握し、試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとする。
- ・正解を導き出すことではない。

【授業中】

- ・これまでにならったことを活用しよう。
- ・話し合いの場では新たな気づきを提案しよう。
- ・新たな課題、疑問を見つけよう。
- ・友達の意見に耳を傾け自分の考えを修正しよう。
- ・ワークシートの振り返りにしっかりと取り組もう。

【家庭学習】

- ・振り返りを行い、理解できていることと出来ていないことを整理し、覚えられていないことについては粘り強く取り組み、説明できるようにしよう。
- ・振り返りをしっかりと書こう。

1 年生 音楽 ～見えないものを視る力（想像力）を養うために～

知識・技能

評価物：実技テスト・定期テスト・ワークシート

- ・音楽の特徴と音楽の仕組み・歌詞の内容との関わりが分かっている。
- ・様々な楽器の音色や響きと、演奏の仕方との関わりが分かっている。
- ・自分の思いや意図にあった表現をするための力（その曲に合った発声方法、楽譜を見て歌う力、呼吸や発声方法、響きのある声の出し方、周りの声や伴奏との合わせ方）が、身についている。
- ・設定された条件を基に、自分が表現したいことを即興的に、音を選んだり組み合わせたりして表現する力が身についている。
- ・自分の思いや意図に合った表現をするための力（音楽の仕組み）を用いて、音楽づくりができています。

【授業中】

- ・理解したことを表現できるように積極的に活動しよう。
- ・気付いたことはワークシートや教科書にメモをしよう。

思考・判断・表現

評価物：定期テスト・ワークシート

- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ることができる。
- ・聴き取ったことと、感じ取ったこととのつながりに気付いて、それがどのように音楽に関わっているかを考えることができる。
- ・曲にふさわしい表現をどのように表現したらよいかを考え、工夫している。
- ・曲や演奏のよさなどを発見できている。
- ・『このように歌いたい！』『このように演奏したい！』という自分なりの思いや意図をもっている。
- ・曲全体（よさや面白さや美しさ）を味わって、音楽を評価しながら聴くことができる。

【授業中】

- ・感じたこと、考えたことを言葉で表現できるようにしよう。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：ワークシートなど

- ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるように、音楽活動を楽しみながら、自ら主体的に取り組むこと。
- ・他者と共に表現や鑑賞の学習活動の中で感じたことを共感したり、気づいたことを共有したりして取り組むことができること。
- ・粘り強く取り組もうとし、自分の学習状況を知って、学習の進め方について試行錯誤して自らの学習を調整して学ぼうとする姿勢が大事。

【授業中】

- ・自分の意見をもてるようにたくさん考えよう。
- ・他の人とたくさん話をし、自分の考えを深めていこう。

1年生 美術 ～美術を学び、生活に彩を持たせよう～

知識・技能

評価物：作品（学習プリントアイデアスケッチを含む）・確認テスト

- ・美術への知識及び技能の学習状況の評価。それらを自分の持つ知識や技能と関連付けたり活用したりする中で生かすことができているか。
- ・作品の内容・完成イメージ・用具の使い方や制作手順・注意事項を自分なりに理解し制作に役立たせることができているか。
- ・分からないことは先生や友達に聞き何度も繰り返し実践の中で身に付けようとしているか。

【授業中】

- ・学習する用語の意味や内容を理解できるように、スケッチブックやプリントに説明や他の人の意見を自分の言葉で書くようにしましょう。プリントの整理や保管等、分かり易いように工夫しましょう。
- ・作品内容・完成イメージ・使用する用具の取り扱い方制作手順を確認しながら集中して進めましょう。

思考・判断・表現

評価物：作品（学習プリントアイデアスケッチを含む）・確認テスト

- ・美術の知識及び技能を活用し課題を解決・達成するための力を身に付けようとしているか。
- ・様々な表現に挑戦し、知識や想いを心のままに楽しみながら表現しようとしているか。
- ・思考錯誤を繰り返しながら自分の表現を追求しようとしているか。

【授業中】

- ・何を伝えたいか自分の中でイメージを持ち、取り組みましょう。
- ・制作の中で創意工夫、確認しながらより良い作品完成を目指して取り組みましょう。
- ・見通しを持って進度に応じた対応や制作を行い完成させる。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：ワークシートなど

- ・作品制作の中で様々な表現を試しながら積極的に取り組もうとしているか。
- ・他の人の作品に触れ、協力し楽しみながら美術にふれようとしているか。

【授業中】

- ・積極的に作品制作に取り組み、意識し集中してより良いものを目指して取り組みましょう。
- ・表現技法を工夫したり他者の作品等を見て、良いと感じることを自分の作品に取り入れましょう。

1 年生 保健体育

～大人になっても運動やスポーツと関わるため～

知識・技能

評価物：単元テスト・学習プリント

- ・心身の機能の発達と心の健康、健康な生活と疾病の予防について、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。
- ・運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。

【授業中】

- ・自己の生活との比較や、各分野の具体的な説明ができるようにする。

思考・判断・表現

評価物：単元テスト・学習プリント

- ・心身の機能の発達と心の健康、健康な生活と疾病の予防について、健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。
- ・運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

【授業中】

- ・設定された課題に対して、その解決に向けて意欲的に学習活動に取り組めるようにする。
- ・レポートなどの提出物においては、期限に遅れることのないようにする。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：学習プリント

- ・心身の機能の発達と心の健康、健康な生活と疾病の予防について、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付けることができる。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動することができる。

【授業中】

- ・実技テストにおいては、記録だけではなく、自己のレベルに応じた目標を設定し、課題に挑戦しようとする部分を評価する。(実技テストを実施できなかった者には、レポートを評価に加えるものとする。)
- ・体操服・教科書・ノートなど、忘れ物がないようにする。(見学者も原則、体操服に着替えること。)
- 学習内容について、教科書・ノートを参考にして、積極的に授業に参加する。

1 年生 技術・家庭科（技術分野）

～生活や社会の中から技術にかかわる問題を見つける～

知識・技能

評価物： 製作品 定期テスト 課題 授業観察 ワークシート

- ・ 情報にかかわる基礎的な技術の仕組みやモラルについて理解する。
- ・ 材料や加工に関する基礎的な知識を身につけ、生活や社会・環境との関わりについて理解する。
- ・ 工具、機器を安全に使い製作する技能を身につけている。

【授業】

- ・ 授業が第一優先です。学習する作業内容を理解するために、指示はしっかり聞きましょう。
- ・ わからないことは、まず自分でよく考えましょう。それでもわからないことは、クラスのなかまと話し合ってみましょう。

【家庭学習】

- ・ 学習したことを学校外の生活に活用させよう。生活の中での疑問点を自分で調べて解決しよう。

思考・判断・表現

評価物： 製作品 定期テスト 課題 授業観察 ワークシート

- ・ 情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。
- ・ メディアを複合する方法及び情報処理の手順について考えている。
- ・ 材料と加工技術について問題解決のための工夫を考えることができる。
- ・ 製作過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。
- ・ 材料と加工の技術について評価し新たな改良や応用について考えている。

【授業】

- ・ 授業が第一優先です。製作品は、見通しを持って計画的に最後まで完成させましょう。
- ・ 作業の中で気づいた問題点は、自分で調べてよく考えて解決しましょう。クラスのなかまと話し合うことも有効です。
- ・ 完成した製作物について、自分の言葉で自信をもって発表しましょう。

主体的に学習に取り組む態度

評価物： 製作品 テスト 課題 授業観察 ワークシート

- ・ 主体的に情報の技術について考え理解しようとしている。
- ・ 主体的に材料と加工に関する技術について考え理解しようとしている。
- ・ 課題解決に主体的に取り組んだり、改善したりしようとしている。
- ・ 生活の向上を目指し材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。

【授業】

- ・ 自分でよく考えたりなかまと話し合ったりしたことは自信を持って、積極的に活動しましょう。
- ・ 最も大切なことは毎時間の授業です。けじめをつけて、何事にも前向きに取り組みましょう。
- ・ 作業を伴う際には、けがのないように細心の注意を払いましょう。情報モラルを遵守しましょう。

【家庭学習】

- ・ 学習したことを学校外の生活に活用させよう。生活の中での疑問点を自分で調べて解決しよう。

1年生 技術・家庭科（家庭分野）

～よりよい生活と持続可能な社会の実現に向けて～

知識・技能

評価物：定期テスト・学習プリント・作品

- ・衣生活における基礎的・基本的な知識を理解している。
- ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。
- ・製作する物に適した材料やぬい方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作ができる。
- ・家庭生活と住生活との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。
- ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。

【授業中】

- ・学習する用語の意味を理解できるように、ノートやプリントに先生の説明や他の人の説明を自分の言葉でたくさんメモできるようにしましょう。

【家庭学習】

- ・学習したことを生活の中で実践してみましょう。また、家庭の仕事を進んで手伝うことが知識や技能の習得につながります。

思考・判断・表現

評価物：定期テスト・学習プリント・学びの足あと

- ・衣生活について問題を見だし、工夫、改善することができる。
- ・被服実習において、見通しをもって作業を行い、自分なりに工夫、改善することができる。
- ・家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見だし、工夫、改善することができる。

【授業中】

- ・自分の衣生活や食生活を振り返り、問題点を見だし、どのようにしたらうまくいくかや改善点を考え、自分の考えをしっかりとまとめられるようになりましょう。また学んだ知識を生活にどう生かしていくか考えることも大切です。

【家庭学習】

- ・学習したことを生活の中で実践してみましょう。どのようにしたらうまくいくか（工夫）やうまくいかなかったことをどう改善していくか考えることが大切です。

主体的に学習に取り組む態度

評価物：学習プリント・学びの足あと・実習

- ・学習内容や自分の生活に関心を持ち、自分の生活をよりよいものにしようとしている。

【授業中】

- ・授業中に自分で考え、書くことを努力して下さい。また、他の人の意見にも耳をかたむけ、自分にはない考えや発見もしっかり取り入れましょう。

【家庭学習】

- ・衣食住、消費生活、環境、家族についてなど、自分の生活に関心を持ちましょう。そして、どう改善したらさらによくなるかを考え、実際に取り組んでいってください。

1 年生 英語 ～英語「を」学び、英語「で」学ぶ（実技教科としての英語）～

評価は3観点（①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度）でしますが、英語の教科の特性上、下のような図で、3観点15領域で評価します。

知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度				
聞く	読む	話す (やりとり)	話す (発表)	書く	聞く	読む	話す (やりとり)	話す (発表)	書く	聞く	読む	話す (やりとり)	話す (発表)	書く

知識・技能 評価物(例)：定期テスト・パフォーマンステスト・夏休み明けテスト・授業内活動

- ◆単語の発音・意味・つづり、語句、文の構造、文法事項、語順がわかる。
- ◆「聞く」「読む」を通して英語の内容を捉える技能を身につけている。
- ◆「話す」「書く」を通して英語で伝えたいことを表現する技能を身につけている。

【授業中】

- ① 英語を聞く、読む、話す、書くことができるように、「勉強」と「練習」をしましょう。
- ② プリント等には、自分が大切だと思うことを自分で書き込もう。あとから見返したときに、自分で内容が理解できる参考書を作るつもりで取り組もう。
- ③ 「じっくり聞く」時と「活発に活動する」ときのメリハリをつけよう。どちらも大事です。

【家庭学習】

- ① 宿題は、その日のうちに、必ず家でする習慣を身につけよう。
- ② 家でポイント等を見直し、ワークを使って練習問題に取り組もう。
- ③ 問題を間違えた時には、答えを消してしまわず、原因、考え方、答えを赤ペンなどで記入しよう。間違えた部分は自分の伸びしろ、宝物です。テスト前にどこを勉強すれば良いか、未来の自分が分かるようにしておこう。
- ④ 単語（発音、意味、つづり）、文法、音読の3つは毎日やる習慣をつけよう。

思考・判断・表現 評価物(例)：定期テスト・パフォーマンステスト・授業内活動

- ◆目的・場面・状況などに応じ、「聞く」「読む」を通して英語の要点・概要・詳細を捉えている。
- ◆目的・場面・状況などに応じ、「話す」「書く」を通して英語で伝えたいことを表現している。

【授業中・家庭学習】

- ① 設定された目的・場面・状況を自分事としてとらえ、表現しよう。
- ② 設定された目的・場面・状況を想像して、相手意識を持って表現しよう。
- ③ 習っていない難しい表現よりも、習った中で言い換える練習をし、繰り返し学習をしよう。
- ④ 単元を見通し、単元末の課題を常に意識して授業に参加しよう。

主体的に学習に取り組む態度 評価物(例)：定期テスト・パフォーマンステスト・授業内活動・提出物

- ◆自分の英語の目標をもち、より力を伸ばしたり、課題や弱点を克服したりするため、自分の学習を調整できる。
- ◆上記の目標のため、粘り強く、自分の学習を調整できる。

【授業中・家庭学習】

- ① 友だちの発言や先生の説明は顔を上げて聞き、わからないことは積極的に質問しよう。
- ② 学習したことは、その日のうちに復習しよう。
- ③ 粘り強く学習し、よりよい表現や内容を考えよう。
- ④ 毎時間や単元末に振り返りをし、良かった点や改善点を見つけ、次につなげよう。